

国土交通省発足20周年

祝辞



新技術の普及 技術者育成に尽力

公益社団法人 日本測量協会

会長 清水 英範

この20年間、測量・地理空間情報分野は大きく発展しました。それを支えたのが、国土交通省によるハード・ソフトの基盤整備でした。

例えば、2001年には宇宙測地・衛星測位時代に対応するべく、測量法が改正され、明治以来の日本測地系が世界測地系に移行されました。これにより、電子基準点主体の新たな国家基準点体系が構築されました。また、国土の基本図体系もデジタル形式に再編され、WebGISの構築やインターネットでの公開が開始されました。

2007年には地理空間情報活用推進基本法が制定され、社会経済の発展には地理空間情報の高度な利活用が不可欠との認識のもと、これをGISや衛星測位等の技術開発、産学官の連携等によって実現していくことが国家目標とされました。これにより、政府が策定する基本計画に基づき、関連施策が円滑かつ強力で推進されました。

測量・地理空間情報分野は、国民の生活と経済の発展を根底で支える分野であり、あらゆる公共事業の最上流を担う分野です。さらなる発展のため、国土交通省には引き続き、力強いリーダーシップをお願い申し上げます。日本測量協会も、新技術の普及・啓発、技術者の育成等に一層の努力を重ねてまいります。